

8-6 資格・CPD部会

1. 主な活動の記録

(1) 資格・CPD 部会の開催

部会開催回数：10回

(2) 資格・CPD 部会の組織

資格・CPD 部会は、技術者の能力開発と適正な資格制度の確立を目指しており、RCCM 資格制度委員会、CPD 委員会の2委員会構成されている。RCCM 資格制度委員会には自主学習システム専門委員会を設置し、CPD 委員会にはCPD 推進専門委員会とCPD 監査専門委員会を設置して活動を行っている。

(3) 委員会の活動

a) RCCM 資格制度委員会

RCCM 試験検討WG、講習会WG、技術者資格WGを中心に活動を行った。

① RCCM 試験検討WG：RCCM 資格試験の方法について、課題を概略整理し、試験方法のWeb化に向け、CBT 試験を採用している試験実施機関にヒアリングを行い、試験方法変更の方向性を検討した。

② 講習会WG：更新講習会のWeb化に向け、移行理由、更新講習の料金、講習構成・内容、講師、規程等について検討した。令和2年度試行、令和3年度完全Web化移行の方針を講師陣に周知し、意向を聞き協力を依頼した。

次年度は、Web化移行に向けた調整や実現に向けて検討を継続する。

③ 技術者資格WG：令和元年度は、技術者資格制度が創設された平成26年度に新規登録（5年に1度の登録更新が必要）した、砂防設備、橋梁などの点検診断「7施設分野、10業務」の技術者資格を登録更新申請し、全て登録された。

次年度は、新規登録(追加)に加えて、平成26年度に登録した19施設分野21業務の登録更新手続きを実施する。

○ 自主学習システム専門委員会

RCCM 登録更新の際に使用する令和元年度

分の自主学習教材について、改定内容の審査、原稿のチェックを行った。自主学習教材の学習内容について、法制度、技術基準、維持・管理等の充実を図った。

b) CPD 委員会

「①CPD 監査の実施と結果の分析」、「②協会会員のCPD 取得支援」、「③CPD ガイドラインの改定、CPD 形態の追加」を中心に活動を行った。

① CPD 監査の実施

令和元年度の監査として、CPD 記録登録者の1%程度を目途に200名を対象として監査を実施した。教育形態別記録状況は、講習会等への参加が昨年同様36%と最も多かった。また昨年度と比べて企業内研修が3%増加し、業務経験が6%減少した。監査結果の総括としては、会員の登録への慣れ及びシステムの改善等により、昨年度監査より記録の不備が減少しており、CPD 記録登録は概ね適正に行われていると判断できる。

② 協会会員のCPD 取得支援

協会会員のCPD 取得を支援するため、WEB等を活用することにより、多くの会員に利用していただくことを目的として活動を行った。今年度は、会員企業のニーズ、テーマの妥当性、過年度テーマとの整合を踏まえて8つのセミナーを抽出し、協会HP上で視聴できるようにした。

③ CPD ガイドラインの改定、CPD 形態の追加

RCCM の更新登録に必要な単位数の変更とともに、教育分野分類の多様化に伴い、利用者のCPD 登録適正化を図るために、CPD ガイドラインの改定を行った。また、CPD 形態の技術資格の取得対象について検討し、対象資格を追加した。

2. 次年度の活動について

今年度の活動を継続実施する。なお、各委員会及び専門委員会活動の詳細は、8-6-1～8-6-5に示す。

(資格・CPD部会部会長 花岡 憲男)